

平成 28 年 3 月 16 日

平成 28 年度江工会関東支部総会の内

「7. 母校の現状報告及び今後の課題」について

司会・進行係：勝田友治（E38）

記録：勝田

1. 司会者挨拶

- 1) 江津工業高校の前身校は明治 35 年、女子生徒対象の養蚕指導員養成目的で開校し、昭和 9 年に閉校しました。小生の母親はこの学校を卒業しました。
- 2) 江津工業高校（工芸学校）は島根県が石見地方に工業学校が必要と考え昭和 9 年 4 月に開校しました。今年が開校 82 周年になります。
- 3) 近年の少子化の影響を受け、今年 4 月の新入生より 2 クラス、80 名に削減されました。更に定員割れが続くと、統廃合の問題が発生します。
- 4) この問題に関する主な経過を報告致します。
 - ①一昨年開校 80 周年記念式典 ②今年の江工会会報（49 号）
 - ③江津市の県立高校あり方検討委員会報告書及びパブリックコメント
 - ④本部総会 ⑤情報・意見交換会 ⑥県教育委員会の発表
 - ⑦5 支部連名の魅力化委員会立上げの提案 ⑧関東支部新年会での要望事項以上を含めて学校長・本部事務局長より「現状報告及び今後の課題等について」説明して貰います。

1. 校長から説明（説明資料あり）

- 1) 江工会 関東支部総会「本校の現状について」
 - 資料内容 あ) 県立高等学校再編成基本計画 H21/2/12
 - い) 江津市県立高校のあり方検討会「報告」H27/3/27
 - う) 平成 28 年度入試より県外生徒募集の拡大について
 - え) 平成 29 年度入試から島根県公立高等学校入試制度の変更について
- 2) 平成 27 年度 江工会関東支部総会 母校近況報告
 - 資料内容 あ) 生徒状況
 - い) 本年度主な行事等
 - う) 学校 PR 活動
- 3) 補足説明
 - ①3 年生 76 名の進路について：就職希望者は 10 月 26 日、全員決定。
 - ②江津市は教育コーディネーターを配置しない様子。
 - ③県外生徒の受入れは 4 名に拡大された。
 - ④平成 29 年度より第 2 希望校制度が廃止される。
 - ⑤江津高校との統合は噂話が先行している様子。（父兄は両校の関係者？）

- ⑥地元産業界とのタイアップ検討。
- ⑦良い学習環境を保つには最低4クラスは必要。

2. 本部事務局長から説明

- 1) 本部長の意見は会報50号をお読みください。
- 2) 本部の活動状況の説明
 - ①8月14日：情報・意見交換会
 - ②8月18日：内部協議（情報・意見交換会対応）
 - ③12月5日：江工会・学校・PTAで協議
 - あ) 小中学生へのPR活動
 - い) 企業との交流を進める（事務局・教員が）
例：建築業、電気工事業、トップ金属等

**説明不足

- *活動状況結果の報告が無い。
- *学校教育支援委員会：活動状況が全く不明。

3. 会員からの提案・質疑等（時間の関係で各科1名）

- 1) 建築科（S59卒、坂さん）
 - ①進学先：大学との提携（例：広島工業大学）
 - ②設計コンペに応募（技術力のPR、*指導教員）
 - ③2クラスに削減されて地元（特に江工会会員）の反応は？
- 2) 機械科（S42卒、山田清さん）
 - ①存続の為の具体的な手法はどのようなものがあるか？
 - ②今日の議題・協議事項を次期校長へ必ず申送ってください。
- 3) 工芸科（S35卒、福間敏夫さん）
 - ①卒業後、桑名デザイン研究所へ入学した。（江津工高の教育レベルが高い）
- 4) 工業化学科（S35卒、盆子原侑三さん）
 - ①存続について校長はどのように考えておられるのか？
 - ②存続に対して江津市がどのように考えているのか？
- 5) 電気科（S35卒、佐々木富雄さん）
 - ①存続に対して江津市・島根県・企業関係者はどのように考えているのか？
 - ②入学した当時は不況でした。先生方は進路指導に苦勞されていました。
- 6) 電気科（S38卒、勝田友治）
 - ①隠岐島前高、長井工高等、地方で頑張っている学校があるので視察して、
Know・Howを学んだのが良いと思う。
 - ②魅力化推進委員会等の提案をしているが、返事がない。全く動きが見えない。